

# 草津市議会の様子 と 市政情報の提供

発表者 中島美徳

### 草津市議会議員の役割

草津市議会は24名の議員で構成されています。当然のことながら、全員が草津市民であり、議員に立候補するには、満25歳以上で3ヶ月以上かつ区域内の居住が必要です。

草津市議会には、現在、総務、文教厚生、産業建設、予算の4つの常任委員会と議会運営委員会、決算特別委員会があります。議員一人ひとりには、総務、文教厚生、産業建設の必ずどれか一つに所属、予算と決算は全員が委員です。それぞれの委員会では、草津市の様々な事業の進捗状況や条例などの内容を確認/審査のなかで、よりよい方向づけとなるようにと、意見を出します。

委員会と市の組織との関係では、総務常任委員会が総合政策部、総務部、まちづくり協働部を所管。文教厚生常任委員会が健康福祉部、教育委員会、子ども未来部を所管。産業建設常任委員会は建設

部、環境経済部、上下水道部を所管しています。

議会運営委員会は、年4回の定例会の運営や議会改革に関する会議などの調整を担っています。予算・決算については、確認や審査が中心となりますが、年度の節目として重要です。



2022年1月に供用開始をする  
給食センターを視察（集町）

以上が主な責務ですが、視察や行事やボランティア活動を通じて知見を広げたり地域情報に関心を持ち研鑽をしながら、市民の皆様のご期待に応える心構えを持ち続けることが大事であると思います。

お気づきの点や要望したいことがありましたら、お気軽に議員に声掛けをしてくだされれば、相談やお力添えをさせていただきます。

### 会場からの質問にお答えします

Q1. 草津市が取り組んでいる大きな事業を紹介してください・・・

⇒ 平成29（2017）年10月6日付けで、滋賀県より県立スイミングセンターの代替機能を





担うプール整備に係る支援市として本市が選定されたことから、令和7（2025）年に開催予定の第79回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の競技会場として、また、国スポ・障スポ後の施設利用を見据え得る施設として、仮称）草津市立プールの建設が進んでいます。



（草津市ホームページから引用）

この施設は 50㎡屋内温水プール・飛び込みプール  
25㎡屋内温水プール他付帯設備が備え付けられることになっており、完成すれば、関西では1、2の規模となり、大きな大会を開催することが可能です。  
場所は、野村運動場付近（西大路）で建物は 地上2階建 床面積は延 13,000㎡余り、観客席は2,500席の予定です

## Q2. GIGA スクールについて教えてください。

⇒ 文部科学省は、Society 5.0 時代を生きる子供たちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校 ICT 環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。という認識を示し令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律の ICT 環境整備が急務という方向を示されています。



そこで、草津市は、小学校はタブレット、中学生ではPCを一人1台を貸与するとともに、電子黒板を活用した授業を展開しています。



（草津市ホームページから引用）

なかでも、小学校3年生から取り組んでいる英語教育では、英語を母国語とする外国人英語教諭や日本人英語教諭によって、本格的な英語教育を実践するとともに、海外の小・中学生とオンラインで会話をするなどの交流を通じた授業が展開されています。そして、姉妹都市をはじめ他府県の小・中学生とオンラインで結び、互いの市町（しまち）の情報交換をするなど、ICTを活用した授業が行われています。